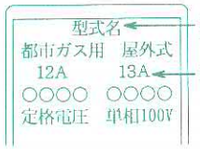
アフターサービス

●「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときはお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

アフターサービスをお申しつけのときは次のことをお知らせください。
①ご住所・ご氏名・電話番号　②型式名（銘板表示のもの）・ご購入日・ガス種
③現象（できるだけ詳しく…エラーコード等）　④道順・目標
＊製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、<例>95（製造年）・10（製造月）-276854（製造番号）です。



●補修用性能部品は製造打ち切り後、最低7年間（BL認定品は10年間）保有しております。
●ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、お早めにお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。
●その他ご不明の点はお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
＊作業に危険を伴う（ハシゴかけ、ヤグラ組立などを必要とする）場所に取り付けられた場合、アフターサービスに応じかねることもありますのでご了承ください。

なお、修理のご依頼は、 0120-193-860でも受付いたしますので、ご利用ください。

保証書

品　名	ガス瞬間給湯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置・使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置・使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）、落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
   (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
   (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　様	
	ご住所　〒	
	お電話	
販売店	店名	
	住所	
	電話番号	

お買い上げ日	年　月　日	
保証期間	お買い上げ日から1年間	
BL認定品の保証期間	本体	お買い上げ日から2年間
	熱交換器	お買い上げ日から3年間

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052（824）5145

修理記録

年　月　日	修理内容	サービス員 ㊞

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

ご連絡には別売の「お客様ご相談窓口」をご参照ください。

15.11 ⑫ B 21　99369

パロマ
ガス瞬間給湯器
PH-16KWQ・PH-20KWQ
PH-16KWQL・PH-20KWQL
取扱説明書



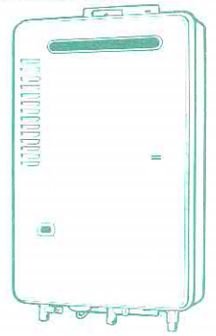
このたびはガス瞬間給湯器をお求めいただきまして、ありがとうございます。

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

取扱説明書を紛失された場合はお近くのパロマまでお問い合わせください。

保証書付

型式名　PH-16KWQ・PH-16KWQ(7)・PH-16KWQ3・PH-16KWQ3(7)・PH-16KWQ3-2
PH-16KWQ4・PH-16KWQ4(7)・
PH-16KWQ5・PH-16KWQ5(7)・
PH-20KWQ・PH-20KWQ(7)・PH-20KWQ3・
PH-20KWQ3(7)・PH-20KWQ4・PH-20KWQ4(7)
PH-20KWQ5・PH-20KWQ5(7)



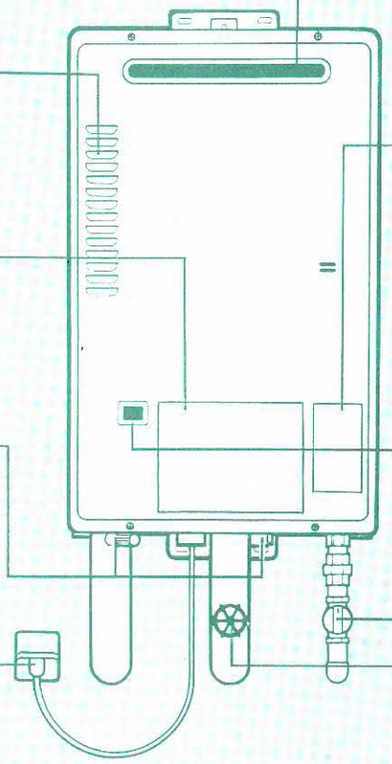
もくじ

	各部のなまえ	1
	必ずお守りください	1
使いかた	準備と確認	6
	リモコンがある場合のお湯の出しかた	7
	リモコンがない場合のお湯の出しかた	7
	シャワーリモコンが優先のおはなし	8
	給湯リモコンのタイマーの使いかた	9
上手に使って長持ちさせるには	凍結を防ぐには	10
	故障かな？と思ったら	11
	点検・お手入れ	13
アフターサービス 仕様	仕様	14
	アフターサービス	裏
	保証書	裏

Paloma

各部のなまえ

本　体



給気口
燃焼用の空気を吸い込みます

本体表示
使用上の注意について表示しています

水抜き栓
凍結予防のため機器内の水を抜くときにはずします

電源プラグ
電気の供給を行います

排気口
燃焼排ガスが出ます

銘　板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています

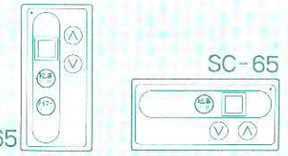
エラーコード
機器が正常に作動しないときに表示されます

ガス栓
ガスの開閉を行います

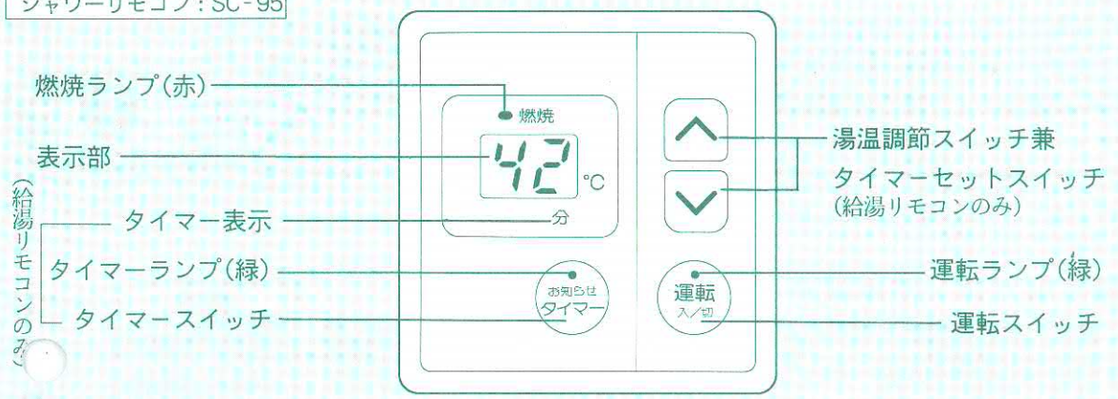
給水元栓
水道水の開閉を行います

リモコン（別売）

リモコンは下記MC-95、SC-95のほかにMC-65、SC-65があります。
MC-95、SC-95のリモコンの表面には抗菌処理が施されております。



給湯リモコン：MC-95
シャワーリモコン：SC-95



スイッチ音の消しかた、鳴らしかた
スイッチを押したときのピッという音は消したり、鳴らしたりすることができます。
(お買い上げ時や再通電時は鳴るようになっています。)
＊MC-65、SC-65はスイッチ音を消すことはできません。

操作
① 運転 入/切 を「切」(ランプ消灯)にしておく　② ∧ を押しながら、運転 入/切 を押す
＊操作する度に、鳴る・鳴らないの設定が切り替ります。操作したリモコンにのみ働きます。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

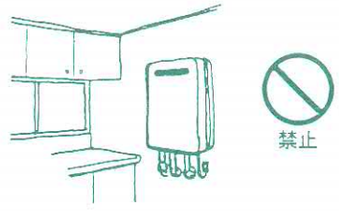
絵表示には次のような意味があります。

一般的な禁止　火気禁止　接触禁止　分解禁止
必ず行う　電源プラグを抜け　アースを接続せよ

⚠危険

■屋外用ガス機器

この機器は屋外用ですので絶対に屋内に設置しない
➡ 不完全燃焼を起こし、大変危険です。



必ずお守りください

⚠警告

■ガス漏れ時の処置

ガス漏れに気付いたときは①、②の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない

➡ 火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉める

② お買い上げの販売店かお近くのガス事業者に連絡する





■使用ガス・使用電源について

ご家庭のガスの種類と機器の銘板に表示されているガスの種類が合っていることを確かめる、合っていない場合は使用しない

➡ 爆発点火や火災の原因になります。







電源は、AC100Vコンセントを使用する

＊おわかりにならない場合または合っていない場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。

■機器の設置

機器の設置、移動および付帯工事はお買い上げの販売店に依頼する

排気口の前方に物を置かない、また設置後機器を波板などで囲わない

➡ 不完全燃焼や火災のおそれがあります。





■火災予防

機器および排気口の周囲に何も置かない

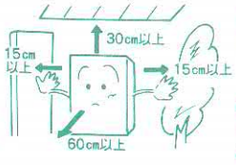
➡ 火災の原因になります。

機器および排気口の周囲にスプレー缶を置かない、近付けない

➡ 熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

機器および排気口の周囲ではガソリン・ベンジン・スプレーなどの引火のおそれのあるものを使用しない

➡ 火災、やけどの原因になります。



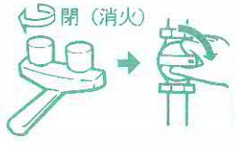


■異常時の処置

異常な燃焼、臭気、異常音が感じられた場合は、運転を停止し、ガス栓を閉め「故障かな？と思ったら」（11ページ）に従う

地震、火災などの緊急の際は、自分の身の安全を確かめてから、あわてずに運転を停止する

＊再びお使いになる前に必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。





⚠注意

■用途について

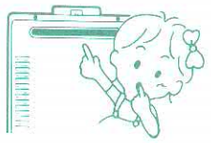
給湯・シャワー以外の用途には使用しない

➡ 思わぬ事故の原因となります。

■やけどに注意

使用中や使用直後は、機器本体や排気口とその周辺は高温になっているので、手をふれない

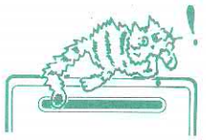
➡ やけどのおそれがあります。





■排気口の周囲

排気口からの排ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を置かない





■井戸水・地下水をお使いの場合

特に硬水使用の場合、沸いたお湯を機器内にためておかない

➡ 石灰分が付着して詰まり機器破損および水漏れの原因となります。

これを防ぐには下記のようにすると有効です。

① 使用後、ガス栓を閉めて（リモコン使用の場合、リモコンのスイッチを「切」にして）から給湯栓を開けて器体内のお湯を出す

② 給湯栓から冷たい水が出たら、給湯栓を閉める

＊井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用はお客様の負担となります。



■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わない

➡ 当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については当社では責任を負いかねます。

おねがい

■雷時の注意

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので雷が発生したときはすみやかに電源プラグを抜いてください。

（電源コードが埋込まれている場合は、元のブレーカーで切ってください。）

雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグをしっかりと差し込んでください。



■停電・断水時のときは

停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。

（通電・通水後はあらためて操作し直してください。リモコン使用の場合、通電後、リモコンのスイッチを「入」にすると、温度表示は42℃になっていますので、再度設定し直してください。）

断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると、空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて（リモコン使用の場合、リモコンのスイッチを「切」にして）、給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。



必ずお守りください

おねがい

■ガス事故防止

リモコン使用の場合、使用後はリモコンの運転スイッチを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。

長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■飲用にお使いのときは

朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器１杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。

■長期間使用しないときは

① ガス栓・給水元栓を閉めます。
② 電源プラグを抜きます。
③ 水抜きをします。(10ページ「凍結を防ぐには」参照)

■家庭用製品

本製品は家庭用ですので、業務用には使用しないでください。著しく機器の寿命が縮まります。

電気事故防止



禁止

アースを接続する

- 濡れた手で電源プラグをさわらないでください。
  感電のおそれがあります。
- 電源プラグの差し込みは確実に行ってください。
  プラグにほこりが付いていたり差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源コードを引っぱって、プラグを抜かないでください。
  コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因となることがあります。
- この機器はアースが必要ですので、アースの接続を確認してください。

設置状態の確認

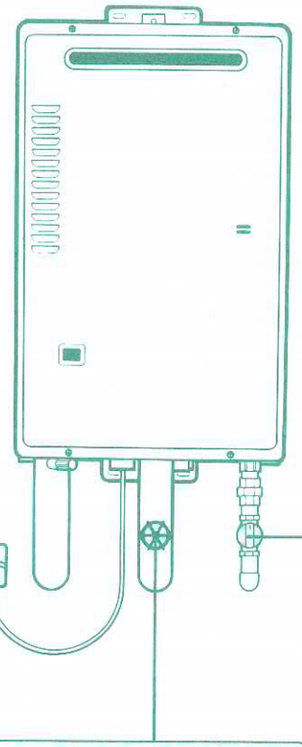
ご使用前や日常の点検の際にご確認ください。

1. 機器は屋外に設置してある。
2. 機器は堅固に設置してある。
3. 作業に危険を伴う（ハシゴかけ、ヤグラ組立などを必要とする）場所に取り付けてない。
4. 機器の周囲に可燃物がない。
   - 洗濯物などの燃えやすいものがない。
   - 排気口からの排ガスにより加熱されて困るもの(危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど)がない。
5. 機器の排気口の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない。
6. 近隣の家に迷惑にならない場所に設置してある。
7. 機器にはガス栓・給水元栓が取り付けてある。
8. 凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く等の措置がしてある。また水抜き栓は保温材から出ており、水抜き操作できるようになっている。
9. 機器を波板などで囲んでいない。(3ページ参照)

＊以上の設置に関し、ご不明な場合は、施工業者までお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

準備と確認



電源プラグをコンセントに差し込んでください

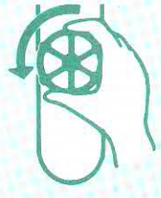


ガス栓を全開にしてください



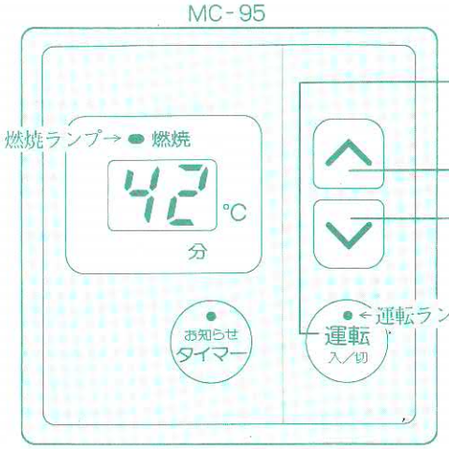
必ず全開で使用してください。

給水元栓を全開にしてください

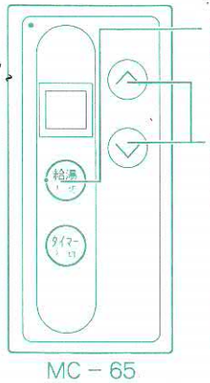


ツマミは左に止まるまでまわし、必ず全開で使用してください。

リモコンがある場合のお湯の出しかた



＊給湯リモコンでお湯の出しかたを紹介しますが、シャワーリモコンも同じ操作方法です。
＊初めてお使いになるときなどはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。(給湯栓の閉開操作を2〜3回繰り返してください。)
＊給湯栓をしぼりすぎると消火するようになっています。(給湯栓をもっと開けてご使用ください。)
＊給湯湯温を70℃に設定した後で、リモコン(MC-95・SC-95)の温度表示70が消えたり、他の表示が出るような操作をした場合、給湯温度は安全のため60℃に切り替わります。



給湯スイッチ(運転スイッチ)
給湯時は「入」にし、使用後は「切」にします。

湯温調節スイッチ
最低湯温は37℃、最高湯温は75℃です。

スイッチ音は「ピッ」と鳴るのみです。

MC－65

運転 入/切 を押す

- ピピッと鳴り、運転ランプ(緑)が点灯します。
- 給湯湯温は、お買い上げ時に設定の42℃または前回使用時に設定の湯温が表示されます。

あつく ぬるく で湯温調節する

- ピッと鳴り、湯温が変わります。
- 42℃設定時はピピッと鳴ります。
- 60℃、70℃設定時はピピピッと鳴って高温注意をお知らせします。

給湯温度のめやす

ややぬるめ	適温					ややあつめ					あつい			
38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60	70	℃

38〜46℃までは押し続けると連続的に変わります。それ以降は1回押すごとに48、50、55、60、70℃と変わります。
＊給湯栓からの出湯温度は設置条件(季節・配管長さ等)で異なります。



給湯栓を開けるとお湯が出ます

機器が燃焼すると、燃焼ランプ(赤)が点灯します。

ご使用後は運転スイッチを押して「切」にしてください。
ピーと鳴り、運転ランプが消灯します。

リモコンがない場合のお湯の出しかた

＊給湯栓を開けると約60℃のお湯が出ますので水を混ぜながらお使いください。



1 混合水栓を水側・お湯側の順で開ける
2 混合水栓でお好みの湯温に調節する
3 混合水栓をお湯側・水側の順で閉める

⚠警告
開けるときは水側(たっぷり)・お湯側(少しずつ)、閉めるときはお湯側・水側の順に行う
➡お湯側だけを開けると高温のお湯が出るので、やけどのおそれがあります。

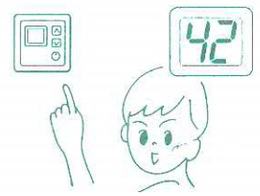
＊お湯の温度は、通常60℃に設定されていますが、42℃または、70℃に変更することもできます。ご希望があれば、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでお問い合わせください。

シャワーリモコンが優先のおはなし

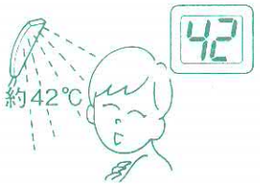
おふろではいつも最適な湯温が保てるように、シャワーリモコン使用中は、シャワーリモコンが優先し、給湯リモコンでは温度を変えられないしくみになっています。
＊運転スイッチ「入」「切」はそれぞれのリモコンで行ってください。

おふろ(優先) シャワーリモコン	キッチン 給湯リモコン
運転 入/切 が「切」で、	運転 入/切 が「入」で39℃に設定してあるところに、
運転 入/切 を「入」にし、42℃にすると	キッチンも42℃のお湯となり、温度表示が消えてシャワーリモコン優先をお知らせします。
シャワーリモコン使用中は、給湯リモコンでお湯の温度は変えられません	
運転 入/切 を「切」にすると、	最初設定した39℃に戻り、温度も表示されます。

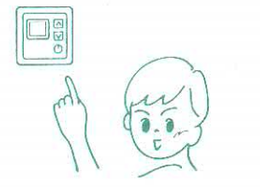














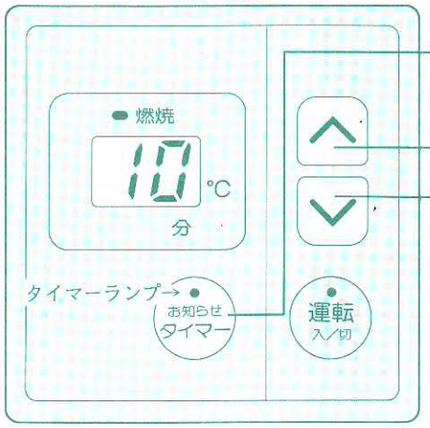
⚠警告
おふろでお湯を使うときは、必ずシャワーリモコン(優先)を使用する
➡勝手に温度を変えられてやけどのおそれがあります。
シャワー・給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない
➡突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。
給湯栓を開けたときの出始めのお湯は、一瞬あついことがあるのでいきなり手や体にかけず、湯温を確認する
➡やけどのおそれがあります。
湯量を少なくするときはゆっくり、絞りすぎないように行う
➡急に行ったり絞りすぎるとあついお湯が出ることがあります。
あついお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す
あついお湯の使用直後にぬるい温度に設定を下げた場合、しばらく流してから使用する
➡配管内のあついお湯が出てしまうまで、すぐにはぬるいお湯になりませんので、やけどのおそれがあります。

給湯リモコンのタイマーの使いかた

給湯リモコンは便利なタイマー付です！
＊タイマーはお知らせ機能だけです。
タイマー終了で給湯は自動停止しません。

＊（お知らせタイマー）を押してから次のスイッチを押すまでが15秒以内に行われないとタイマーは設定できません。その場合は、最初からやり直してください。
＊この機能は運転スイッチの「入」「切」に関係なく使用できます。

MC-95



（お知らせタイマー）を押す

●ピッと鳴り、前回使用時に設定の時間が表示され、タイマーランプ（緑）と「分」が点灯します。

15秒以内

ふえる（∧）へる（∨）で時間を設定する

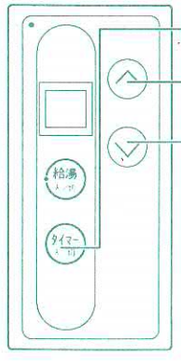
●ピッと鳴り、1～99分まで1分づつ変わります。
●押し続けると、連続的に変わります。

15秒以内

（お知らせタイマー）をもう1度押すと、タイマースタート

●ピピッと鳴り、タイマーランプが点滅します。

MC－65



タイマースイッチ
タイマーセット時とタイマースタート時に押します。

タイマーセットスイッチ
タイマー設定時間を調節します。

スイッチ音は「ピッ」と鳴るのみです。

タイマーが終了すると、15秒間“ピピピッ”でお知らせします

"ピピピッ"を止めるには、（お知らせタイマー）を押してください。

ブザー終了後、表示は「切」の状態になります。（運転スイッチが「入」になっていると、給湯表示になります。）

タイマー設定後の表示

運転スイッチが「入」になっているとタイマー設定後、給湯表示に戻ります。

（例）

10 分 → 42 ℃

タイマーの残り時間が知りたいとき

（お知らせタイマー）押す → 7 分　しばらくしてから前の表示に戻ります

タイマーを途中で止めるには

運転スイッチ「切」のとき

（お知らせタイマー）1回押す　ピー

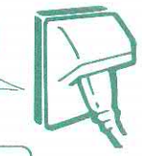
運転スイッチ「入」のとき

（お知らせタイマー）2回押す　ピッ・ピー

凍結を防ぐには

凍結予防装置

この機器には凍結予防ヒータが組み込まれていますので機器本体に電気が供給されているかぎり、無風状態で外気温マイナス20℃程度まで器体内の凍結を予防できます。



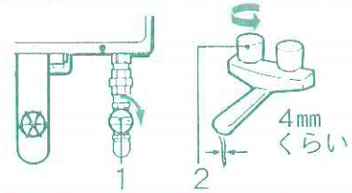
おねがい
凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、気象状況により下記の方法で凍結による破損防止の処置を行ってください。

凍結防止方法1…通水による方法

機器本体だけでなく、給水、給湯配管・バルブ類の凍結防止もできます。

● リモコンがある場合は運転スイッチを「切」にしてから下記の操作を行ってください。

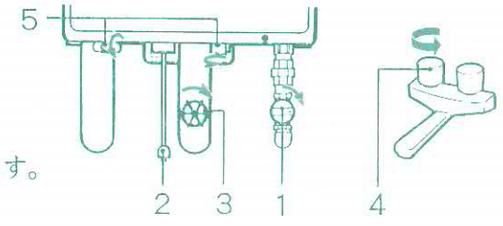
① ガス栓を閉めます。
② 給湯栓を少し開けておきます。
＊流量が不安定になるため、30分後にもう1度流量を確認してください。
＊寒い日は多めに水を流してください。



凍結防止方法2…機器内の水を抜く方法

● リモコンがある場合は運転スイッチを「切」にしてから下記の操作を行ってください。

① ガス栓を閉めます。
② 電源プラグを抜きます。
③ 給水元栓を閉めます。
④ 全ての給湯栓を開けます。
⑤ 水抜き栓をはずします。
＊再度使用するまでこのままにしておきます。



水抜き後の使いかた

①水抜き栓（2か所）を閉める。
②給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止める。
③6ページの「準備と確認」から始める。
＊再使用時にまず、上記の操作を行わないと、エラーになる場合があります。

おねがい

「凍結予防装置」と「機器内の水を抜く方法」は配管・バルブ類の凍結予防はできません。配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

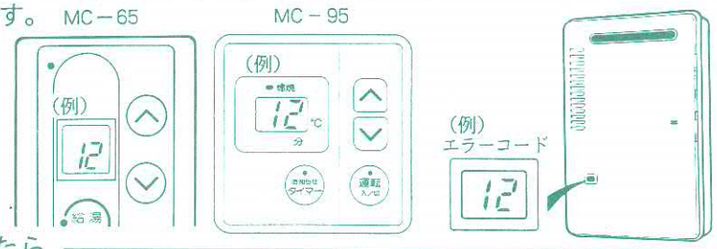
凍結したときは!!

● 凍結すると、機器の破損・異常をおこし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
● 凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認した後、お使いください。
● 凍結防止せずに凍結して、機器を損傷させたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

故障かな？と思ったら

エラーコードが表示されている場合

故障かな？と思ったら、エラーコードが表示されていないか確認します。
給湯栓は開いたままにしておきます。



エラーコードが表示されたら

①給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にする。
５分ほど待ってから、再び、リモコンの運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。

②それでもなおエラーコードが表示される場合
a.右ページ以外のエラーコードが表示される場合は③へ。
b.右ページのエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にする。下記の処置をし、再使用する。
それでもエラーコードが表示される場合は③へ。

③リモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼してください。
このとき作業を円滑に行うために「エラーコード」の表示をお知らせください。

MC-65・SC-65の場合 エラーコード	MC-95・SC-95と本体側の場合 エラーコード	原因	処置
12	11	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
	12	LPガスがなくなりかけている（LPガス使用の場合）	ボンベを交換する
14	15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
		ソーラーシステムに接続している	ソーラー接続の場合はすぐに安全装置が働いてしまうため、湯温を「高温」に設定して混合水栓で水を混ぜてお使いください。
		水抜き後の再使用時の順番が違っている	P10「水抜き後の使いかた」参照

MC-95、SC-95と本体側の場合
エラーコードは「11」「12」等の２桁の数字と「-0」「C2」等の記号が交互に表示されます。

OKモニターが表示されていない場合

症状	原因と処置（参照ページ）
給湯栓を開けてもお湯が出ない	● 給水元栓を十分開いていますか？ 給水元栓を全開にしてください。 ● 給湯栓をしぼりすぎていませんか？（流水量が少ないと消火します。） 給湯栓をもっと開けてください。 ● 凍結していませんか？ 凍結がとけるまでお待ちください。（10ページ） ● 断水・停電していませんか？ 通水・通電するまでお待ちください。（4ページ） ● リモコン使用の場合、運転スイッチが「入」になっていますか？ リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。（7ページ） ● 使い始めは給湯配管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯は出ません。 ● 機器から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。
低温のお湯が出ない	● 湯温調節は適切ですか？ リモコンの操作方法に従ってください。（7ページ） ● 給水元栓を十分開いていますか？ 給水元栓を全開にしてください。 ● ２ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ● 水温が高い夏期などに少量のお湯を得ようとすると、湯温が高くなることがあります。給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。
高温のお湯が出ない	● 湯温調節は適切ですか？　リモコンの操作方法に従ってください。（7ページ） ● ガス栓が全開になっていますか？　ガス栓を全開にしてください。 ● 給湯栓を全開にしていませんか？　給湯栓をもう少ししぼってください。 ● ２ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。
途中で水になる	● ガス栓が全開になっていますか？ ガス栓を全開にしてください。 ● 給水元栓を十分開いていますか？ 給水元栓を全開にしてください。 ● 停電していませんか？ 通電するまでお待ちください。（4ページ） ● 給湯栓をしぼりすぎていませんか？（流水量が少ないと消火します。） 給湯栓をもっと開けてください。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	● 機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがあります。（機器下面がぬれて困るときはビニールホース等で支障のない所へ排水してください。なお、ホースは中に水が溜らないように取り付けてください。）
お湯が白く濁ってみえる	● 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害です。
排気口から白い煙のようなものが出る	● 外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	● 再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。

点検・お手入れ

⚠注意 ＊機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは定期的に必ず行ってください。そのときは、ガス栓を閉め（リモコンがある場合はリモコンの運転スイッチを「切」にし）、機器が冷えてから行ってください。
＊機器やリモコンを分解すると故障や事故の原因になりますから絶対にしないでください。
＊お手入れの際、指先には十分注意してください。



点　検

1.危険な使用環境になっていませんか？

長年のご使用で、危険な使用環境にならないように、P.5の「設置状態の確認」に従った点検を行っていただき、常に安全環境作りに心掛けてください。

2.給気口・排気口をふさいでいませんか？

不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口・給気口をふさがないでください。

排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口がふさがれ、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口をふさぐおそれのある場合は最寄りの施工業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

3.機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありませんか？

ガス漏れのときは、ただちに使用を中止し、P.3の「ガス漏れ時の処置」に従ってください。水漏れがある場合は、施工業者に修理を依頼してください。特に、地震、火災、雪・水害などの後、再びお使いになる前には、必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。

4.外観に異常はありませんか？

塗装面にへこみがあるときや機器が変色している場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマに点検を依頼してください。

5.運転中に異常音は聞こえませんか？

お買い上げの販売店かお近くのパロマに点検を依頼してください。

＊機器のご使用に支障がなくても、2年に1度程度（使用頻度の高い場合には1年に2回程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検をするのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

お手入れ

（機器外装・リモコン）

水気を絞った布に台所用中性洗剤を含ませ、軽くふき乾いた布で洗剤分と水気を十分ふき取ります。

＊リモコン掃除後、画面が乱れることがありますがまもなく直ります。

おねがい

- 浴槽、洗面台もこまめに掃除してください。湯アカが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと石鹸などに含まれる脂肪酸とが反応し、青く変色することがあります。
- 機器本体をタワシやブラシなどでこすらないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
- 機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
- リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
- 本体やリモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- 点検・お手入れ後は、給湯栓を開け、機器が正常に作動するか確認してください。
- 故障または破損したと思われる場合は使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマにご相談ください。

仕　様

＊本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品名		PH-16KWQ・PH-16KWQL	PH-20KWQ・PH-20KWQL	設置方式	屋外壁掛式（PS設置可能）
型式名		下表「型式名」欄参照		本体（器体）寸法	高さ565×幅350×奥行130mm
				重量（本体）	16kg
				点火方式	放電点火式
				給湯温度制御	比例制御
接続	給湯・給水	R½（15A）		最低作動水量	2.5ℓ／分
接続	ガス	都市ガス用12A・13AとLPガス用はR½（15A）、都市ガス用12A・13AとLPガス用以外はR¾（20A）		使用水圧	78.5～981kPa（0.8～10.0kg/cm²）
				最低作動水圧	9.81kPa（0.1kg／cm²）
電源	使用電源	AC100V（50Hzまたは60Hz）		別売品	給湯リモコン…MC-95、MC-65(1)、ケーブル、配管カバー
電源	消費電力	下表「消費電力」欄参照（凍結予防ヒータ…58W）		別売品	シャワーリモコン…SC-95、SC-65(2)、据置台、排気カバー
電源	電源コード長さ	1.5 m		安全装置	炎検出安全装置・過熱防止装置・過電流防止装置・空だき防止装置・沸騰防止装置・過圧防止安全装置・凍結予防装置（電気ヒータ）
種類別	給湯方式	先止め式			
種類別	給排気方式	屋外用			

ガス消費量

使用ガス（ガスグループ）		ガス消費量 kW（kcal/h）	出湯量（最大） ℓ／分 25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	ガス消費量 kW（kcal/h）	出湯量（最大） ℓ／分 25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇
		PH-16KWQ・PH-16KWQ(7)・PH-16KWQ3・PH-16KWQ3(7)・PH-16KWQ3-2・PH-16KWQ4・PH-16KWQ4(7)・PH-16KWQ5・PH-16KWQ5(7)				PH-20KWQ・PH-20KWQ(7)・PH-20KWQ3・PH-20KWQ3(7)・PH-20KWQ4・PH-20KWQ4(7)・PH-20KWQ5・PH-20KWQ5(7)			
都市ガス用	L1（6B,6C,7C用）	34.9（30000）	(16.0)	10.0	7.2	41.9（36000）	(19.2)	12.0	8.7
						☆40.7（35000）	(18.6)	11.6	8.5
	L2（5A,5AN,5B用）	34.9（30000）	(16.0)	10.0	7.2	40.7（35000）	(18.6)	11.6	8.5
						☆40.1（34500）	(18.4)	11.5	8.4
	L3（4A,4B,4C用）					38.4（33000）	(17.6)	11.0	8.0
	5C	34.9（30000）	(16.0)	10.0	7.2	43.6（37500）	(20.0)	12.5	9.1
						☆41.9（36000）	(19.2)	12.0	8.7
	6A	34.9（30000）	(16.0)	10.0	7.2	43.6（37500）	(20.0)	12.5	9.1
	12A	32.6（28000）	(14.9)	9.3	6.7	40.7（35000）	(18.6)	11.6	8.5
	13A	34.9（30000）	(16.0)	10.0	7.2	43.6（37500）	(20.0)	12.5	9.1
LPガス用		34.9（2.5kg/h）	(16.0)	10.0	7.2	43.6（3.12kg/h）	(20.0)	12.5	9.1

＊出湯量の（　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。
＊PH-20KWQ4(7)の都市ガス用L1とPH-20KWQ4の都市ガス用L2、5Cのガス消費量は☆印の段になります。

消費電力

型式名＼使用ガス（ガスグループ）	都市ガス用 L1（6B, 6C, 7C用）	L2（5A, 5AN, 5B用）	L3（4A, 4B, 4C用）	5C	6A	12A	13A	LPガス
PH-16KWQ・PH-16KWQ(7)・PH-16KWQ5・PH-16KWQ5(7)	33W	33W		34W	33W	33W	33W	36W
PH-16KWQ3・PH-16KWQ3(7)	38W	42W		40W	40W	33W	33W	40W
PH-16KWQ3-2						45W	45W	55W
PH-16KWQ4・PH-16KWQ4(7)	56W	50W		47W	42W	45W	45W	48W
PH-20KWQ・PH-20KWQ(7)・PH-20KWQ5・PH-20KWQ5(7)	47W	46W	46W	49W	47W	43W	43W	47W
PH-20KWQ3・PH-20KWQ3(7)	53W	53W		56W	53W	43W	43W	43W
PH-20KWQ4・PH-20KWQ4(7)	62W	67W	57W	62W	62W	62W	62W	62W